

第4回

川柳大会 大賞発表



ご応募ありがとうございました

9月15日まで募集いたしました当企画に、過去最高となる75名の方にご参加いただき、188作品が集まりました。厳正なる審査の結果、以下の作品に賞をお送りします！

作品テーマ

『夏あるある』

銀賞
No.2

「また来るね」 R.T様
安堵と寂しさ
入り混じり

事務局長より

夏休みに感じる祖父母の率直な感想、子どもや孫が遊びに来てくれた嬉しさと、日常生活とは違う騒がしさ。見送るとき、見送った後に訪れる率直な気持ちが表現されていると思います。

院長より

銅賞
No.3

好きだった 大好き
あの頃の夏に
丸腸様
戻りたい

わくわくしていた小学生の夏休み。楽しみがたくさん待っていた、多くの方に「あの頃」を思い出させる切なさが沁みる句ですね。

事務局より

たくさんのご応募ありがとうございました！入賞者の方には記念品をお送りいたします。また、院内でも作品の掲示を行いますので、ご来院の際はぜひご覧ください！



金・銀・銅賞の方には
今津周辺
飲食店の食事券を
プレゼント!!

※写真はイメージです

金賞

No.1

「最近、荒れ地の魔女様
暑さが平気！」
それ老化

院長より

「暑さに強くなった、元気になった」と思わせて、最後の「それ老化」でひっくり返すオチが秀逸です。高齢になると暑さや喉の渇きを感じにくくなることもあり、笑える「あるある」でありながら、熱中症への注意喚起につながる点を評価しました。

入選 5点

自分でね つかまえたんだ カフトムシ 子ガメ様

暑すぎて 犬の散歩が 犬主導 トミー様

扇風機 つけたり消したり 更年期 M.K様

リハビリ 早く行きたい 暑い家 T.O様

蝉よりも 我が子の泣き声 響く夏 ことりママ様

医療法人 永寿会 シーサイド病院
シーサイド病院介護医療院

〒819-0165 福岡県福岡市西区今津3810番地
TEL 092-806-7171 FAX 092-806-5021

グループホームシーサイド 092-806-9067
ケアプランサービスシーサイド 092-805-7862
シーサイド病院訪問リハビリテーションセンター 092-806-7273
シーサイド通所リハビリテーションセンター

<https://www.seaside-hp.or.jp>



シーサイド病院広報誌

第27号
2026年10月発行

Instagram
公式アカウント



つなぐ
tsunagu



表紙画像：今津中田コスモス広場(2025年11月撮影)



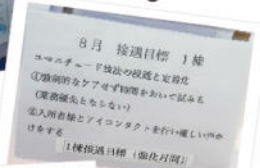
特集 ユマニチュードを実践する
- 病院での取り組みを、学会へ -

病院を支える委員会とは？ Vol.02

第4回川柳大会大賞発表

ユマニチュード®を実践する

— 院内での取り組みを、学会へ —



「知る」ことから始まった ユマニチュードの取り組み

4月号ではユマニチュード導入のきっかけを、6月号では職員研修の様子を、8月号では研修を受けた職員の声を紹介しました。そして今、学びを実際のケアにつなげるための取り組みが新たに始まっています。

「学んだことを、日々のケアへ」

4月に発足した「ユマニチュード推進委員会」が中心となり、院内での実践に向けた取り組みを進めています。まずは介護医療院1棟をモデル病棟とし、2026年度の病棟目標に「正しいユマニチュード技法の習得・実践」を掲げ、職員全体で取り組みを開始しました。

5月からは、ユマニチュードに関する月間目標を設定し、毎月の振り返りとフィードバックを実施。さらにユマニチュードを実践することで期待される入所者さん・職員双方への効果を資料にまとめ、ナースステーションに掲示するなど、継続的に意識できる環境づくりにも取り組んでいます。

そして8月からは、1棟の1居室を対象にユマニチュードケアの先行導入をスタートしました。入室時間や実施したケア、「見る・話す・触れる・立つ」の4つの柱を意識した関わりができたかななどをチェックリストに記録し、一つひとつのケアを振り返っています。また、入所者さんご本人やご家族と一緒に、「叶えたいこと」「こうなしてほしい」といった願いや想いを込めた個別支援計画書を作成。一人ひとりの願いを大切にしながら、ユマニチュードのケアを通して、その実現を目指します。



先進施設から学んだ、導入のリアル

ユマニチュードの取り組みを進めるにあたり、福岡県で初めてユマニチュードのプロンズ認証を取得した「フェリオ百道」さんへ品川院長と推進委員会のメンバーを中心に訪問しました。実際の入居者さんとの関わりを見学するとともに、ユマニチュード導入までの道のりについてもお話を伺いました。

お話の中では、導入が順調に進んだことだけではなく、職員の中でも受け止め方に違いがあったことや、現場で感じた難しさなど、実際に取り組んだからこそ分かる経験についても伺うことができました。

先進施設の「リアルな経験」は、これから当院で取り組みを進めていくうえで、大きな学びとなりました。

※ユマニチュードには、施設・組織としての取り組みを評価する「認証制度」があります。プロンズ認証は、ユマニチュードを学び、組織として実践に取り組んでいる施設に日本ユマニチュード学会より与えられる認証です。

取り組みはまだ始まったばかりで、ケアによる具体的な効果については、これから検証していく段階です。

一方で、先行導入の居室での取り組みにとどまらず、患者さん・入所者さんの部屋へ入る際にノックをする、声をかける、相手の反応を待つなど、日々の関わりを意識する職員も少しずつ増えています。

小さな変化の積み重ねが、これからの当院のケアにつながっていくことを期待しています。

私たちの取り組みを学会へ

これまで院内で学び、実践してきた取り組みを、今度は院外へ発信します。10月に開催される「第8回日本ユマニチュード学会学術集会 福岡大会2026」において、当院の取り組みを発表することになりました。今回の発表では、一人の職員がユマニチュードを知ったことをきっかけに、院内で取り組みを開始してから現在に至るまでの歩みを紹介します。

院内で積み重ねてきたことを外部へ発信するのは、私たちに初めて大きな一歩です。そして学会では、さまざまな施設の取り組みに触れ、新たな学びを得ることも楽しみにしています。

「知る」から「学ぶ」へ。

「学ぶ」から「実践」へ。

そして、実践からまた新たな学びへ。

これまでの取り組みを一つの節目として、これからも患者さん・入所者さん一人ひとりを大切にするケアを、職員みんなで考え、育んでいきます。



当日の発表者を務めます！

看護部 看護部長室付
介護係長

松井 裕紀

長期にわたる療養生活の中に「楽しみ」を。
季節を感じたり、みんなで一緒に笑ったり、好きな音楽を楽しんだり。レクリエーション委員会では、日々の療養生活の中にある「楽しみ」の時間を大切にしています。これからは患者さん・入所者さんの笑顔につながるような行事やレクリエーションを企画し、心豊かに過ごしていただける時間をお届けしていきます。



9月7日に開催した敬老祝賀会も、レクリエーション委員会が中心となって企画・準備を行いました。
第1部では、喜寿・米寿・95・98歳の方・白寿・100歳以上の方の表彰を行いました。品川院長より表彰状が手渡され、皆さん笑顔で記念写真を撮影しました。
第2部では、ボランティア・Cocorofull様による歌謡曲の歌唱とサックス演奏を楽しみました。開催にあたっては、レク委員が患者さん・入所者さんに楽しんでいただくような曲をリサーチし、楽曲をリクエスト。当日は歌詞カードやボン・ボンを手には皆さん一緒に演奏を楽しみました。



四季折々の
病棟飾り

主な活動

- 敬老会やクリスマス会などの開催
- 季節を感じる病棟の飾り付け
- 各部署と協力して行事を運営
- イベント当日の準備・進行 など

病院を支える
Vol.02

委員会とは？
レクリエーション委員会編

前回、病院にある「委員会」とはどのようなものなのか、その役割についてご紹介しました。今回は、院内で活動するさまざまな委員会を、実際の活動とともにご紹介していきます。第1回は、レクリエーション委員会です。患者さん・入所者さんの精神的な充実を目指し、季節や行事を楽しんでいただく機会をつくるために活動しています。